

令和5年度 ふじさんネットワーク総会

令和5年度のふじさんネットワーク総会が、6月3日(土)に沼津市のプラサヴェルにおいて開催されました。

6月2日から3日にかけての大雨による公共交通機関の停止や道路の通行止め等により、会場に来られなかつた方もいらっしゃったため、出席者が少ない状態で開催することとなりました。当日御出席いた

だいた皆様、会場まで向かつて到達できなかつた皆様には、多大な御心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。
事務局としては、荒天で会場までのアクセスができなくなることまで想定して開催の可否を検討するよう準備段階の対応を改善し、御出席いただく皆様の御心配を減らせるよう努めてまいります。

総会は、正会員256団体のうち、出席12団体、委任状提出139団体の参加により有効に成立し、令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案等すべての議案が承認されました。



総会の様子



活動発表の様子

総会終了後の活動発表は、2者にお願いしていましたが、静岡県富士山世界遺産課の話題提供は、公共交通機関の停止により残念ながら中止となりました。

柿田川・東富士の地下水を守る連絡会には、日本水大賞の受賞に伴い、漆畠会長(ふじさんネットワーク副会長)、中嶋氏、水野氏に発表していただきました。

連絡会は、湧水の涵養を図るため、柿田川湧水の水源涵養地である富士山東南麓での森づくり活動を始めたことや、若者から年配者まで幅広い年代の方が活動に参加していること等をお話いただき、聴講した方と、長期にわたり活動が継続するためには何が必要か共有できたのではないかと思います。

M N × REPORT

富士山の恵みの水 柿田川自然観察会

令和5年8月19日(土)に、公益財團法人柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然観察の会を案内役として迎え、柿田川自然観察会を実施しました。今年も多くの方々からの申し込みがあり、当日は69名に御参加いただきました。

連絡会は、湧水の涵養を図るため、柿田川湧水の水源涵養地である富士山東南麓での森づくり活動を始めたことや、若者から年配者まで幅広い年代の方が活動に参加していること等をお話いただき、聴講した方と、長期にわたり活動が継続するためには何が必要か共有できたのではないかと思います。

夏の晴天の日でも、約15℃の湧水は長時間入つてると足が冷たく感じましたが、参加者の皆様には、普段入れない場所での貴重な体験を楽しんでいただくことができ声が上がっていました。

説明を受けた後に参加者は川に入り、魚やモクズガニなどの様々な生物をつかまえ、バケツ等に入れて観察していました。川から引き上げたタモに生物が入つてると参加者から喜びの声が聞こえ、大きなモクズガニを捕まえた人からは、ひときわ大きな歓声が上がっていました。



子どもたちは元気いっぱいでした

最初は湧水広場で、柿田川みどりのトラストの漆畠会長から、柿田川の自然についてのお話があり、「ミシマバイカモ等の貴重な植物が生育している所には近付かない」「水流が強い区域には出ではいけない」「昆虫や魚類等の生物は、捕まえて観察したら必ず放流する」と説明がありました。



観察会の様子